

令和7年度 信学会松本こども園 「園の自己評価」(まとめ)

より良い園運営を行うため、園の自己評価の実施が法律で規定されています。以下の項目について、各職員より提出された評価を分析し、園としての自己評価を取りまとめました。

【在職職員35名】

1. 園の自己評価

A…十分達成されていると思う

B…達成されていると思う

C…取り組んでいるが、成果が十分でないと思う D…取り組みが不十分であると思う

項目	自己評価内容	評価			
		A	B	C	D
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	17	17	1	0
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	13	18	4	0
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	29	6	0	0
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	25	9	1	0
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	24	10	1	0
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	19	14	2	0
研修(資質向上への取組)	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	27	8	0	0
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	16	17	2	0
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	18	16	1	0
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会(モニター会)を設置している。	27	8	0	0
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	16	17	2	0
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	25	8	2	0
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	21	11	2	1
保護者・地域住民との連携	・PTAや学校関係者委員会(モニター会)等で定期的に懇談会を実施している。	22	13	0	0
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	14	18	3	0
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	22	12	1	0
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	20	14	1	0

2. 自己評価分析 次年度に向けて

【教育課程・指導】

○子どもの姿からの環境構成。子どもの心の育ちと遊びの経験からの学びの姿に着目しながら、保育を振り返り「また、明日もやってみたい!」の思いを大切に日々の保育に取り組んでいる姿が見られる。園として、目指す方向のビジョンの具体化が更に必要か。

○子どもの姿に即した、指導計画が作成され、子ども主体の保育の取り組みがなされるようになっている。

【組織運営】

○ITを活用し、保護者通知が行われ、リアルタイムに子どもの様子が伝えられるようになった。仕事の効率化を図るとともに、更にITを活用した取り組みを進めていきたい。

○若世代が中心となり、自分の思いを前面に出しながらベテラン保育教諭がそれをサポートするような組織への転換が必要か。園職員がチームで保育を行えるような組織づくりへ。保育者自身も子どもとの生活を楽しみ、子どもの姿を自然と語り合えるよなるような組織風土になるとよい。

【地域連携・子育て支援】

○地域の子育てニーズの把握と、それに即した支援体制がとれるよう開かれたこども園の在り方を検討する必要がある。地域、行政とも連携を取り、情報交換の機会を設け、更に支援体制の強化を図る。